

基本政策シート

2026年度	(管理番号)			部局名
	分野	基本政策		危機管理監
	03	01	01	

分野	基本政策
安全・安心・快適	みんなの力で自然災害から生き残る

将来の理想の姿(2044年)

どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

10年後(2034年)の理想の姿

自助・共助・公助が適切に組み合わせられて機能し、ハードとソフトが一体となった対策が進んで、災害が起こっても生き残り、速やかに復旧・復興ができる体制が整っている。

生活満足度に関する指標(分野指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
安全・安心・快適の実感	あなたの暮らしている地域は、安全・安心で住みやすいと感じますか。	3.46	3.44				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

政策体系

政策番号	政策	事業名	担当課名
01	逃げ遅れゼロに向けた備えと避難行動の推進	災害対策本部事業	危機管理課
		地域防災計画整備事業	危機管理課
		津波対策維持管理事業	危機管理課
		津波対策整備事業	危機管理課
		市民防災意識啓発事業	危機管理課
		情報通信維持管理事業	危機管理課
		情報通信整備事業	危機管理課
		防災学習センター管理運営事業	危機管理課
	危機管理デジタル運営経費	危機管理課	
02	災害関連死ゼロに向けた避難生活環境の維持改善の推進	地域防災計画整備事業	危機管理課
		停電対策予防伐採事業	危機管理課
		市民防災意識啓発事業	危機管理課
		感震ブレーカー設置費助成事業	危機管理課
		防災施設・資機材維持管理事業	危機管理課
		防災施設・資機材整備事業	危機管理課

※「事業名」は政策シート①事業活動(アクティビティ)における事業名

政策体系

政策番号	政策	事業名	担当課名
		自主防災組織支援事業	危機管理課
		自主防災組織資機材整備事業	危機管理課
		危機管理デジタル運営経費	危機管理課
		被災地支援事業	危機管理課

※「事業名」は政策シート①事業活動(アクティビティ)における事業名

2026年度の取組の方向性

【逃げ遅れゼロ】

- ・ 高齢者及び障がい者のみの世帯など、自ら家具の転倒防止対策を実施することが難しい市民に対して、転倒防止器具の取付け作業に係る費用を負担し、家具の固定を推進します。
- ・ 居住地の災害特性や気象情報、避難情報などを理解した上で、適時適切なタイミングで避難行動ができるよう、各家庭の「わたしの避難計画」の作成を促し、「わたしの減災プロジェクト」を推進します。
- ・ 市民に対して、同報無線や緊急速報メール、防災ホットメールなど、あらゆる手段を用いて避難情報等を発信し、逃げ遅れゼロを目指します。
- ・ 津波避難施設(津波避難タワーや津波避難マウンド)の滞在機能の向上を図るための整備を実施していきます。

【災害関連死ゼロ】

- ・ 自主防災組織の訓練や災害時の自主避難所の運営などに必要な防災備蓄資機材等の購入に対して補助金を交付し、自主防災組織による地域防災力の向上を図ります。
- ・ 災害用のトイレカー等の配備を進め、トイレ環境の充実を図るなど、避難所の生活環境改善を進めます。
- ・ 避難所の開設を迅速に行うため、初動対応の指示書や資機材をまとめたファーストミッションボックスの配備を進めるとともに、これを活用した避難所運営訓練実施を促進します。
- ・ 地域防災の要である自主防災隊に所属する女性を対象に、防災リーダー研修会を行い、防災人材の育成に取り組み、女性目線を取り入れた避難所運営を推進します。
- ・ 住宅の電気火災リスクを低減するため、感震ブレーカーの設置に対する費用を補助していきます。

【その他】

- ・ 災害時の避難者情報や被害情報の収集など迅速かつ的確な災害対応を行うためのシステム整備を進めます。
- ・ 出前講座や防災学習センターの見学、イベント等を通じて、市民への防災知識の普及や防災意識の高揚を図ります。

【2026年度の評価】

2026年度の基本政策の評価と2027年度以降の取組の方向性(2027年度記載)

評価時に記載